

取組の効果

夏季と冬季の2回行っていた本市の未来塾は、夏季こそ中止となったが、冬季は実施することができた。感染症対策としては、支援員への事前の健康観察チェックシート、支援員・生徒全員への毎日の検温、支援員へのフェイスシールドの配布、一人一席で間隔をとるなどを行った。生徒からの意見として、図書館の学習スペースが利用できない中、学習環境が有り集中できたとの意見が多かった。一方、生徒から、席が離れていることや雰囲気により、支援員が回っているが声をかけにくかったとの意見や、支援員からも飛沫感染を心配して、生徒に話しかけにくかったとの意見があり、無声での意思表示の方法などが次年度以降の課題となった。

背景・ねらい | 家庭学習の習慣が定着していなかったり、学習が遅れがちであったりする生徒に対して学習支援を行うことで、学習習慣を身に付けるきっかけの場とする。また、学習意欲のある生徒に学習の場を提供する。さらに、生徒に勉強を教える学習支援員を募集し、指導・育成することで、地域の教育力の向上につなげる。

対象校・対象者 | 市内在住・在学の中学生及び高校生

実施教科 | 全教科（ただし工作や習字等は除く）

実施場所 | 市民活動センター（中部地区） カリヨンハウス（北部地区）

実施の形態 | 生徒が自主学習し、質問がある場合は、学習支援員からアドバイスを受ける。

実施日・回数 | 【冬季】12/24～12/28（平日の3日間・3回）

登録人数 | 【冬季】25名

参加人数（平均） | 【冬季】平均9名（1日・1会場あたり）



コーディネーター等の取組の様子

市職員がコーディネーターとして、会場の予約、生徒の出席状況の確認、支援員の勤務調整等の業務を行っている。